

MR（麻疹・風疹混合）ワクチン

2005.09.01

今年の函館地方の夏は、風邪ひきさんの全然いない、とても平和な夏だったようです。夏になると流行する、ヘルパンギーナや手足口病の流行もほとんどありませんでした。9月から10月は1年で一番、流行性の病気が少なくなる時期です。この機会を利用して、ワクチンを進めていきましょう。

今年の4月からBCG（結核予防のためのワクチン）が生後すぐから6ヶ月までと劇的に接種期間が変更になりました。ツベルクリン反応なしにするために、何らかの問題が出るかと思いましたが、全国的にも問題なく移行したようです。

来年の4月から、麻疹（はしか）と風疹のワクチンはそれまでの単独接種から、麻疹と風疹が一緒になった麻疹風疹混合ワクチンに移行します。2つが一緒になったばかりではなく、接種期間が1歳から2歳までの間と、小学校に上がる直前の1年間（年長さん）の2回接種に変更になります。麻疹の発生が全国で1年間に100人程度まで減少している現状では1回接種ではそれぞれの病気に対する免疫の維持が難しい状況になってきています。そのために2回接種になったのですが、残念ながら、MRワクチンを最初に受けていないと現在のところは2回目の接種がMRで受けられないという制限がついています。

現在、麻疹、風疹とも7歳半までに接種を受けてくださいということになっていますが、来年4月以降は2歳を越えていればどちらも公費では受けられなくなります。まだ受けていないお子さんは早めに受けてください。

来年4月からの移行なので、現在の麻疹の流行状況から見れば個人的には年内にお誕生日を迎えるお子さんは麻疹、風疹は単独で、それ以降は4月まで待ってMRワクチンを受けるといいのかなと考えておりますが、保育園児など、他人と接触する機会が多いお子さんは1月生まれくらいまでは現行どおりのワクチンがいいでしょう。流行の状況とかかりつけの先生のご意見を聞いて判断してください。詳しくは各市町村の予防接種担当係にお問い合わせください。

その後この制度は変更になり、平成19年度に小学校に入学する児童にもMRワクチンの2回目が接種できるようになりました。19年度に入学するお子さんの接種期限は平成19年3月31日です。接種がまだのお子さんはぜひ早めに行ってください。2006.12.23追加。